

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和5(2023)年度 第2回社会教育委員会		
開催日時	令和6(2024)年2月29日(火) 午後2時から午後3時まで		
開催場所	みよし市図書館学習交流プラザ「サンライズ」3階 講座室兼音楽室1・2		
出席者	委員長 秋松成喜 副委員長 鈴木輝二 委員 野口尚子、大地由美子、中村有里、山本一夫、岡本清則、 浅井博人、丹羽浩介(計9人) 市側 増岡教育長、富田教育部長、林スポーツ課長、 二子石生涯学習推進課長兼図書館長、 橋本歴史民俗資料館館長、西世古学校教育副主幹 林生涯学習推進課副主幹(計7名) 出席者: 16人 傍聴者: 0人 欠席者: 2人		
次回開催予定日	令和6(2024)年6月下旬		
問合せ先	みよし市教育委員会生涯学習推進課 担当者名 林 電話番号 0561-34-3111 ファックス番号 0561-34-3114 メールアドレス gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 協議事項 (1) 令和5(2023)年度社会教育委員活動報告について (2) 令和5(2023)年度社会教育・生涯学習活動報告について ア 学校教育課 イ スポーツ課 ウ 生涯学習推進課 エ 歴史民俗資料館 3 その他 (1) 令和6(2024)年度愛知県教育委員会関係大会の予定について		

《会議録》

開会

生涯学習推進課長

本日は、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから令和5年度第2回社会教育委員会を開催いたします。初めに、礼の交換をいたします。皆様ご起立をお願いいたします。一度礼、ご着席ください。なお、大森委員、大村委員より所用により欠席の連絡をいただいております。また、インターンシップで来ている学生が見学に来ておりますので、申し添えさせていただきます。秋松委員長におかれましては、多年にわたり、みよし市社会教育委員会委員長等で社会教育活動の推進発展に努め、社会教育の振興に貢献されたとして、昨年11月21日に、愛知県教育表彰を受賞されたことを報告させていただきます。おめでとうございます。では、会議を進めさせていただきます。初めに、教育長がいさつを申し上げます。

1 あいさつ
教育長

皆さんこんにちは、寒かったり暑かったりと毎日、天候の変化目まぐるしいわけですが、本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、先ほど生涯学習推進課長からお話があったように、秋松委員長におかれましては、本当に長年のご尽力が、県で認められたということで、表彰を受けられて誠にありがとうございます。さて本日はですね、1年の終わりの会ということでお集まりいただいておりますけれども、明日、市では3月議会がスタートをします。冒頭に私の方からは、教育行政方針について話をさせていただく機会があります。学校教育の振興はもちろんですが、令和6年度からは、社会教育の振興だと感じております。学校教育はたくさんのお金をかけてこどもたちのことを中心にやっていますが、先日の教育振興基本計画の推進会議で、本委員会の委員でもある大村委員から、こんな話を最後にしていただきました。「推進会議では、どうしてもこどものことが中心となってしまう。もう一つ、大人の生き方、人生100年時代を生きる住民そして60歳以上の人たちの今後の生き方をどう支えていくのかを検討する必要があるのではないかな。大人が充実した生き方をするためにどう支えていくかを考えていくことで、生き生きと生活している大人の様子を見たこどもが素敵だなと感じ、みよし市に進み続けよう、そんな思いを持つようになるのではないかな。来年どうは大人の学びの保障をどうしていくか考えていきましょう。」と提案をいただきました。私も全く同感で、明日の教育行政方針では、「芸術文化の振興、生涯スポーツの振興について、今、このみよし市で頑張っておられる団体や、個人の応援ができるようにしていきたい。」ということをお願いします。さらには、学校も地域とともに、こどもを育てるということを大きな柱にしておりますので、「地域がこどもと一緒に育っていくような、生涯学習体制をみんなで作りましょう。」という提案をさせていただこうと思っています。バックボーンとなるのが、今日お集まりいただいた皆様、この委員会の皆様のお1人お1人のご意見になるかと思います。それぞれのお立場で必要だと個人的に思うところもあると思いますが、みよし市にとって何が必要かといったことを考えていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

生涯学習推進課長	続きまして、秋松委員長からご挨拶をお願いいたします。
委員長	改めましてこんにちは。開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。今日はうるう年のオリンピックイヤー、2月29日であります。委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、令和5年度第2回社会教育委員会にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。教育長におかれましては、大変お忙しいところ、ご出席いただき、ごあいさつをいただきまして、ありがとうございます。また、教育部長初め関係部署の皆さんにもお越しをいただいております。質問事項等もあると思いますがよろしく願いをいたします。まずは、能登半島地震被災者の皆さんにお見舞いを申し上げたいと存じます。さて、委員会でございますが、本年度は6月、11月、3月の3回の開催が予定されておりましたが、第1回が7月にずれ込んだこと等もございまして、第2回、第3回で審議いただく内容を今回まとめて提案させていただき、第3回を省略させていただきたいと思っておりますよろしく願いお願いいたします。令和5年度東海北陸社会教育研究大会が10月に開催されました。福井大会にご出席いただきました皆さん、大変ご苦勞さまでございました。今年は富山県で開催が予定されております。被災地の1日も早い復興復旧を祈念いたしたいと思っております。その研究大会の過去の会議録をちょっと読み返しておりましたが、平成28年度の福井県の研究会大会で、このたび被災をされました。輪島市の提案がございました。その中で青少年健全の分科会の活動方針で、小学生を対象に行う体験学習事業ということでございまして、その内容に防災について学ぶ会、カリキュラムがございました。ダンボールで居室を作り、実際に宿泊体験をする。さらに炊き出しをする。また、避難経路の調査などを大人と一緒に行うといった事業でございましたが、その事業を当時受けた小学生が10年経った今日、今度の体験を生かしながら、今後の災害復旧に貢献をしている姿を想像するときに、本当に社会教育活動の原点に触れた思いがいたしました。社会教育活動、家庭・地域・学校を基盤とした人作り、繋がり作り、地域作りを機能させながら推進が求められておるところでございます。皆さんにおかれましては、それぞれのご活躍の分野で社会教育活動を推進していただければ幸いと存じます。終わりになりますが、恐縮ですが、先ほど事務局、教育長から報告いただきましたが、このたび社会教育の振興に寄与したということで、令和5年度愛知県教育表彰を授与されました。皆さんのご支援のおかげであります。本当に感謝を申し上げます。ありがとうございます。平成3年度には文部科学大臣賞を頂戴し、4年度には、社会教育委員会の全国表彰を頂戴し、さらに昨年は、県の教育表彰ということで、3年続けて賞をいただきました。これをもって持って卒業証書といたしております。本当にありがとうございます。以上、開会にあたりまして簡単でございますが、あいさつといたします。
生涯学習推進課長	ありがとうございました。ここで教育長は他の公務がございまして、ここで退席とさせていたよろしくお願いいたします。それでは、協議事項に入りたいと思い

委員長	ます。協議事項の取り回しを秋松委員長にお願いをいたします。
2 協議事項 委員長	それでは、会議の進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。本日の会議への傍聴の申出はありませんでした。なお、先ほど説明があったように、インターンシップの大学生の見学がございますので、ご承知おきください。 2の協議事項に入ります。始めに、「(1) 令和5年度社会教育委員活動報告について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。
生涯学習推進課長	生涯学習推進課長二子石です。資料1をご覧ください。申し訳ありませんが、はじめに資料の訂正をさせていただきます。左側にナンバーの5を4に、6を5に、9を6に訂正をお願いします。次に、6にある会議の回数の第3回を第2回に訂正をお願いします。それでは、令和5年度社会教育活動報告をさせていただきます。令和5年4月19日に愛知県社会教育委員連絡協議会西三河支部理事会がありました。秋松委員長にご出席をいただいております。6月23日に愛知県車検社会教育委員連絡協議会総会並びに第1回地区研修会には、4人の委員にご出席をいただきました。7月4日に第1回みよし市社会教育委員会を開催させていただき、令和5年度の教育行政方針や、社会教育関係事業の概要の説明を行いました。9月13日の人権教育指導者研修会に4人の委員に出席いただきました。10月13日から14日の東海北陸社会教育研修大会福井大会に5人に出席いただきました。出席された委員のレポートを机上に配布をさせていただいております。最後に、令和6年2月29日、本日の第2回社会期教育委員会となります。以上、説明とさせていただきます。
委員長	本来であれば、東海北陸研究会出席者一人ひとりが発表すると思います。時間の都合もありますので各自お手元の資料をお読みいただきたいと思います。よろしく願いいたします。令和5年度社会教育委員活動報告について、質問がありますか。
委員長	無いようですので、「(2) 令和5年度社会教育生涯学習活動報告について」を議題とします。それぞれ説明をお願いいたします。
学校教育課副主幹	学校教育課からは、家庭教育学級事業及び思春期家庭教育学級事業の2事業を説明させていただきます。家庭教育学級事業から説明させていただきます。令和5年度は、天王小学校を除く7小学校で事業を開催しました。中部小学校は、アロマ講習会を開催しました。北部小学校は、カネヨシプレイスの正面玄関に飾ってある絵画の作成者である岡田昌平先生を講師として親子絵画教室を開催し、児童が50人以上参加しました。南部小学校は、子供のころから金銭感覚を身につけることも大事だということで子供と親のための金融教育講座を開催しました。三吉小学校は、夢をかなえる未来マップということで、自分の得意、苦手、好き嫌

	いなど自己分析を行い、大人が夢を描くことが大事だという内容でした。三好丘小学校は、色から子どもの気持ちを読み取るという色のリーディング講座を開催しました。緑丘小学校も黒笹小学校も色の重要性を認識し、自分の色を見つけ、個性を引き出す講座を開催しました。続いて中学校で開催されました思春期家庭学級事業について説明させていただきます。令和5年度は市内全4中学校で開催しました。三好中学校は、オリンピックで活躍したフィギュアスケートの小塚崇彦さんを招いて挫折の乗り越え方等の講座を開催しました。北中学校は収納は親から子へ教えられることが多く、他の人から教えられる機会もないため中高生のためのかたづけ講座を開催しました。南中学校は、日本講演新聞の支局長ということで、自身のいろいろな経験を生徒に伝えていただきました。三好丘中学校は、臨床心理士の方を招いて思春期の子供との向き合い方の講座を開催しました。以上です。
スポーツ課長	スポーツ課長林です。資料3ですが、前半の内容が漏れてしまいましたので、別に配布しました、追加資料で説明させていただきます。1番の幼児の親子体操教室は、2歳児、3歳児の親子教室です。定員45人に対し、受講された方は38人となります。2番、3番の幼児の体育教室は、4歳児と5歳児の親子教室です。4歳児は46人、5歳児は申し込みが多く63人の受講となりました。4番のスタンス教室は、小学生を対象としたものになります。39人に受講していただきました。5番の成人のスポーツ教室は、20歳代のみよし市のスポーツ実施率は、週1回以上で、一番低い年代ですので、20歳代をターゲットしたボクシングの教室です。13人でした。6番目のカラーリング交流会ですが、これはレクリエーションスポーツで、障がい者、小さいお子さんでも参加できるものとなります。43人の参加となりました。7番のカヌー教室ですが、みよし市カヌー協会が5月から9月までの暑い時期開催しました。すべてのコースで定員10人を上回る申し込みがありましたが、すべての方の参加をいただきました。8番のマラソン・駅伝大会ですが、市内全体の公道走っていましたが、三好池周辺にコースを変えて開催し、1122人の参加がありました。9番から11番は、総合型地域スポーツクラブが実施したものとなります。なかよしクラブは、みよし市の中部地区、三好さんさんスポーツクラブは、南部地区を拠点に開催しました。三好ともいきスポーツクラブは、東海学園大学となります。スポーツ参加者は会員数となっております。以上です。
生涯学習推進課長	生涯学習推進課長二子石です。資料の10ページをご覧ください。令和5年度から、生涯学習講座の受講機会を増やすために、サンライズ以外におかよし交流センターでも講座を開始しておりますことを冒頭に報告させていただきます。大学連携公開講座は、愛知教育大学との連携しおかよし交流センターで2事業実施しました。ドイツの教育事情については、ドイツの教育制度等をテーマに募集したところ、定員より多い申し込みをいただきました。地層岩石化石から探る郷土の大地の成り立ちと特徴については、夏休み期間でしたので多くの子ども達に出席してもらいました。生活創造講座は、料理やヨガ、ハロウィンなどのスイーツづ

	くり、寄せ植え、手相など81講座企画しました。特に12ページの27番「わくわくからだ探検隊」、13ページの46番「40代50代でも早くないエンディングノートのはじめ方」は市役所の他課事業とのコラボレーション事業で、生涯学習推進課が募集の手助けをして、無事に開催できた事業となります。17ページをご覧ください。国際理解講座は、英語、中国語、フランス語、韓国語などの外国語を、初心者から慣れた方までの段階的な難易度を設定した開催や、実際のシチュエーションに応じた形式やゲーム感覚で楽しみながら学ぶなど様々な方法で45講座企画しました。21ページをご覧ください。情報通信講座はワード、エクセル、ラインなどパソコンやスマホの使用にかかる講座を47講座企画しました。令和6年度もアンケート結果により魅力ある講座を企画し、おかよし交流センターの開催数を増やし、充実を図ってまいります。25ページをご覧ください。読書啓発事業は、読書の普及等を図るため8回公演等を行いました。9回目は3月2日に子ども向け落語を開催する予定です。読み聞かせボランティア連続講座は小中学校で読み聞かせを行っているボランティア団体から大変好評をいただきました。27ページをご覧ください。サンライズ図書館まつりは、サンライズで開催している事業の周知を図るため開催し、印鑑づくり、絵画抹茶、アクセサリ作り、空手などの体験や本の読み聞かせ、本の装備、リサイクル本の頒布などの図書館ならではのイベントを開催しました。28ページをご覧ください。芸術文化合唱推進事業は市民合唱交流会をカネヨシプレイスで11団体が参加し開催しました。来年度は楽器演奏を加え、みよし音楽祭として開催予定です。29ページをご覧ください。生涯学習発表会開催事業は、市内各地区で活動している団体の日ごろの成果を発表する機会としてカネヨシプレイスで踊りや演奏等の発表、サンライズで写真、俳句、手芸等の展示を行いました。来場者数を増やすために開催方法や周知方法に苦慮しています。30ページをご覧ください。文化事業委託事業は、絵画、写真、踊り等の様々な文化・芸術活動の促進を図るため、文化展・文化祭・公募美術展の開催を文化協会に委託するものです。岡崎から葵武将隊を呼んでゲスト出演してもらい大いに盛り上がりました。
歴史民俗資料館長	歴史民俗資料館長橋本です。資料の31から34ページをお願いします。事業名は、資料館展示事業です。番号の1から4番については、季節毎に開催する企画展示会です。春は猿投窯、夏は昆虫、秋は戦争、冬はひな人形をテーマに開催しました。5番は日進市との共催によりバスツアーを開催し、黒笹27号窯や日進市の香久山古窯など、猿投古窯の中心地となる場所を巡りました。6から8番は、縄文時代と同じ手法で土器を作ったり、黒曜石を使って矢じりを作ったり、土器片の形をしたクッキーを作ったりする体験講座を開催し、夏休み中の子どもたちに親子で楽しみながら、みよしの歴史や焼き物について学んでももらいました。続いて34ページの石川家住宅管理事業です。みよし市指定文化財である石川家住宅では、市民の方が講師となって、自ら体験してきた遊びやおもちゃ作り、絵手紙や布草履づくりなどを伝承する歴史体感講座を開催し、明治時代に建てられたおもむきのある屋敷の中で、昔懐かしい生活の様子や遊び、ものづくりなどを

	体験してもらいました。以上です。
委員長	ただいまの説明に対し、質問はありますか。
浅井委員	幼稚園協会の代表として参加をさせていただいておりますまこと第二幼稚園の浅井です。スポーツ課の教室で幼児体育教室ですが、水曜日になると園児たちが早く帰っていきます。非常に楽しみにしている事業だと思います。4歳児と5歳児の教室がありますが、4歳児の開催時間が早いため参加しづらい状況となっています。参加人数を見るとやはり5歳児は開催時間が遅いので、定員を超えている状況のようです。同じ日に2コマやっていますので、仕方がない部分はあると思いますが、遅い時間で別の曜日でやっていただけると、より参加者が増えるのではないかと思います。
スポーツ課長	スポーツ課長林です。4歳児の開催時間については、今後検討していきます。
浅井委員	このデータには載ってこないのですが、3月10日にマラソンがあります。それに参加をするということで、三好池周りを練習で何周かしてきたという話をお聞きしました。そうした形で三好池の周回コースをご利用される方が多いのではないかと思います。また、岡崎の方も三好池まで来られて走っているという話も聞いておりますので、市内の市民の方だけでなく市外の方たちも大いに利用されており良いことだと思います。以上です。
委員長	ほかに質問はありますか。
大地委員	2点お願いします。先ほど教育長から話がありましたが、教育振興推進委員会でもいろいろな話が出ています。1点目は、家庭教育について少し意見を言いたいと思います。家庭教育学級とか中学校のお話をさせていただきました。それぞれ工夫をしてやってみえると思いますが、家庭教育というふうに大きな単位で考えたときに、保護者がどんなことを必要としているのか、どんなことをわかりたいのか、とかどんなことを困っているのかという部分で、なかなかこういういった講座とかでは支えられないところで、困っているとか、助けて欲しいと思っていることがあるのではないかなと感じています。そういうところもこれから考えていくことが必要ではないのかと考えているのと同時に、家庭教育学級とか、私も学校を経験しているので、なかなか保護者が集まらないということも書いてありますが、参加者が少ないので、やっぱり魅力的な内容、この人の話だったら聞きに行こうとかといったことを踏まえて開催した方が集まると思います。資金が決まっていて、これだけのお金でお話してくれる方というふうに見るとなかなか保護者がたくさん集まるという状況にはなりにくいのかなとも感じていますので、資金的な支援ができればもっと保護者が集まる会ができるかもしれないですし、他の部門から支援する家庭教育学級に対してはやっぱり金銭的な支援も大きな力

	になるのではないかと感じています。2点目は生涯学習活動で、私も講座には参加させていただいています。興味があるところに行ったので、私はすごく楽しく参加させていただきました。面白いなと思って参加しましたが、生涯学習講座はニーズを受けてやるというお話ですが、そのニーズという点で、何に対してのニーズなのかと感じています。例えば年代別のニーズなのか、あの中身的な内容的なことのニーズなのか、いろんな側面を考えられると思いますが、年代的なことを言うと、若くて先ほども何かスポーツのところでも20代から40代のところが少ないというお話がありましたが、その年代は忙しくて働いているので、とても生涯学習講座に来る余裕がない方々もたくさんいると思います。誰がニーズを感じているかという、高齢の方とか、働き終わった方とか、私が出た講座でも若い方も来てみまして、学びたいという思いを持ってみえる方いますが、どこに視点を合わせてニーズを考えていくのかを探っていけるといいと思います。豊田市の人と話をすることがあって、その方は、シニアアカデミーという年齢の高い方々が通年で学ぶアカデミーに参加されており、すごく魅力的だといったお話で聞いています。シニア向けの長期にわたる講座があってもいいと思います。その他にも、例えば福祉の中身について学ぶ講座とか、保育の補助員について学ぶ講座とかいうのもいいと思います。福祉について学ぶ講座であれば、学んでみて、次に福祉活動に自分が参画するといったことも起るのではないかと思います。それから、はじめの一步講座というものあり、もの作りに関する講座も開かれており、例えば地域支援の学校などで教えられる人になったりして、人材育成にも思います。もう少し幅を広げて、どんなことができるのかな、どんなことをしたら次にその人が進む一步に繋がるのかなといったことを考えながら、講座も考えていくと発展性があるのではないかと感じています。
生涯学習推進課長	貴重なご意見をありがとうございました。今後の講座を開催するにあたりまして、今のご意見を参考にしていきたいと思っています。
委員長	ほかに質問はありますか。
委員長	無いようですので、次に移りたいと思います。3のその他「(1) 令和6(2024)年度愛知県教育委員会関係大会の予定について」説明をお願いします。
生涯学習推進課長	生涯学習推進課長二子石です。36ページをご覧ください。令和6年度の事業で社会教育委員に出席を依頼する可能性のある事業として、愛知県社会教育委員連絡協議会の評議員会総会が令和6年5月29日(水)に刈谷市産業振興センターで、県社連県公連合同の愛知地域づくり推進大会が令和6年11月13日(水)に新城文化会館で開催されますので、開催日が近づきましたら皆さんに連絡させていただきます。以上です。
委員長	ただいまの説明に対し、質問はありますか。

委員長	無いようですので、会議全体を通して、質問はありませんか。
委員長	無いようですので、本日の協議事項、報告事項は以上で終了します。ご協力ありがとうございました。事務局へお返しいたします。
生涯学習推進課長	以上で、第2回社会教育委員会を終了します。皆様、ご起立をお願いします。一同礼。ありがとうございました。